

◆ 配布計画についてのワークショップを開催 ◆

2020年11月13日に母子健康手帳の配布計画についてのワークショップをオンライン（Zoom）で開催しました。参加者は国家公衆衛生局から Dr. Landinha、Ms. Catarina、ルアンダ州保健局から Dr. Domingas、Dr. Ana Isabel、ベンゲラ州保健局から Dr. Angelina、Dr. Quiaza、Dr. Vanda、ウアンボ州保健局から Dr. Elizabeth Citende、Dr. Elizabeth Saul、ローカルスタッフの Arsenio、Dionisio、日本人専門家5名の総勢16名が参加しました。初めてのオンラインワークショップで、インターネット接続に問題があり参加できなかった方もいましたが、無事に開催できました。母子健康手帳の配布計画は、①いつ②どこに③何冊の手帳を届ける必要があるかを計算した計画で、半年毎に作成します。手帳を適切なタイミングでユーザー（母親とその家族、子供）に届けるためには、非常に大切なものです。その配布計画の中心的役割を担うのが、国家公衆衛生局です。今回は、エクセルファイルを使って実際の配布計画の作成方法の演習を実施しました。参加者全員が計算の根拠を理解できました。2021年の配布計画からは国家公衆衛生局が、作成の主体を担います。

時間	議題	内容
9:00-9:15	自己紹介	
9:15-9:30	ワークショップの概要	目的、プログラムの共有
9:30-9:45	適切な手帳配布の重要性	適切な配布計画が作成されないと何が起こるか 配布計画の作成で必要なポイント
9:45-10:00	配布対象、配布の流れ	手帳の配布対象、国家公衆衛生局からの手帳の流れの確認
10:00-10:45	2021年の配布計画の作成	配布計画を作成する演習



ルアンダ州で第2回拡大M&S実施中

プロジェクトでは2020年6月下旬からルアンダ州にて母子保健サービスの現状・COVID-19対策をモニタリングするための第1回拡大モニタリング&スーパービジョン（M&S）を実施しました。

11月3日から第1回で訪問した施設で更に介入が必要な施設を選択し、第2回拡大M&Sを実施しています。ルアンダ州では同時並行して、電話でのM&Sも実施しています。電話と実際に赴いてのM&Sの両アプローチで母子保健サービスの提供状況の改善を目指しています。

